

地域の伝統芸能を活かした P B L の実践

～生徒の想いを大切にした総合学習の授業改善を通して～

佐渡市立高千中学校

教諭 小田 和也

本日のながれ

1. 自己紹介
2. P B Lの意義
3. P B Lを実践する上で大切にしたこと
4. 地域の伝統芸能を活かしたP B Lの実践の実際
5. 成果と課題

1. 自己紹介

小田 和也（おだ かずや）

■略歴

1987年 新潟県佐渡郡金井町（現：佐渡市）出身 36歳

佐渡市内公立小学校、中学校、高等学校 卒業

佐渡市立高千中学校 社会科教諭（7年目）

2011年 明治大学文学部史学地理学科考古学専攻 卒業

2013年 明治大学大学院文学研究科臨床人間学専攻 博士前期課程修了（人間学修士）

2013年4月～2014年3月 佐渡市立畑野中学校非常勤講師

2014年4月～2017年3月 佐渡市教育委員会社会教育課（主事）

2017年4月～2020年3月 見附市立西中学校（教諭）

2020年4月～現在 佐渡市立高千中学校（教諭）

1. 自己紹介

小田 和也（おだ かずや）

■所属・実績

日本社会科教育学会 島嶼コミュニティ学会

日本生活科・総合的学習教育学会 その他 社会科研究会、サークル等

2021年 佐渡市中学校教育研究会道德部長

2021年 新潟県教弘論文『優良賞』受賞(共同執筆)

2022年 佐渡市中学校教育研究会社会科部長

2021・2022年 ときわ会佐渡支部社会科部長

2022年 第38回時事通信社教育奨励賞『努力賞』受賞(共同執筆)

2023年 明治図書「社会科教育」7月号実践掲載

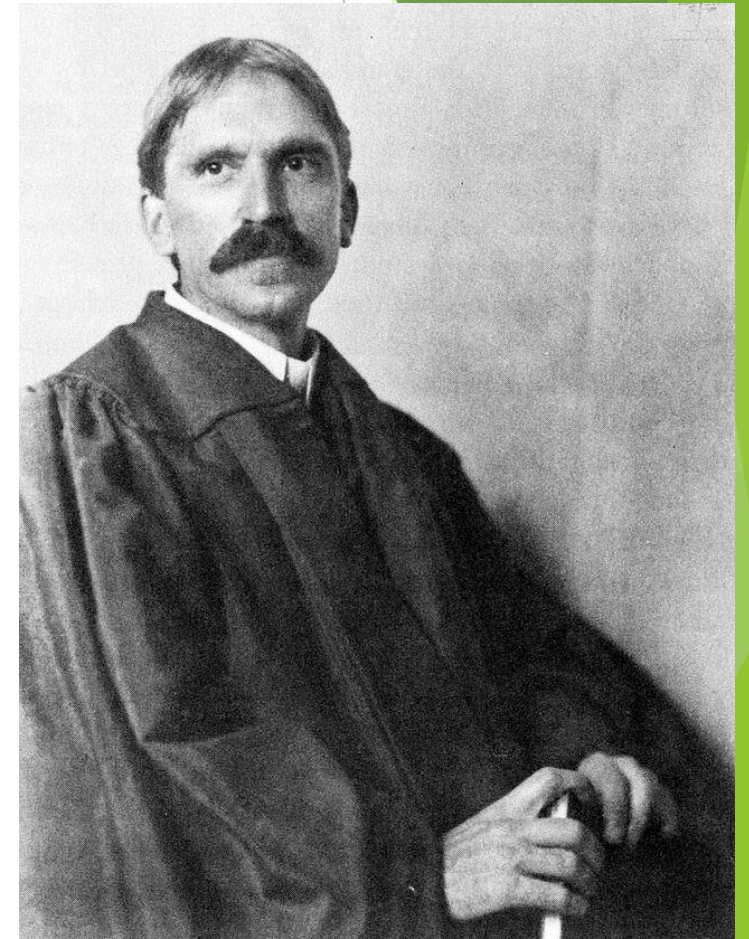
2023年 心豊かな社会をつくるための子ども教育財団提言コンテスト『最優秀賞』受賞

2. PBLの意義

P B L = 「Project Based Learning」の略。
課題解決型学習。

学習者による課題発見・解決

→ 主体性・思考力・対話力・実践力の向上



ジョン・デューイ - Wikipedia

3. PBLを実践する上で大切にしたこと

【生徒】

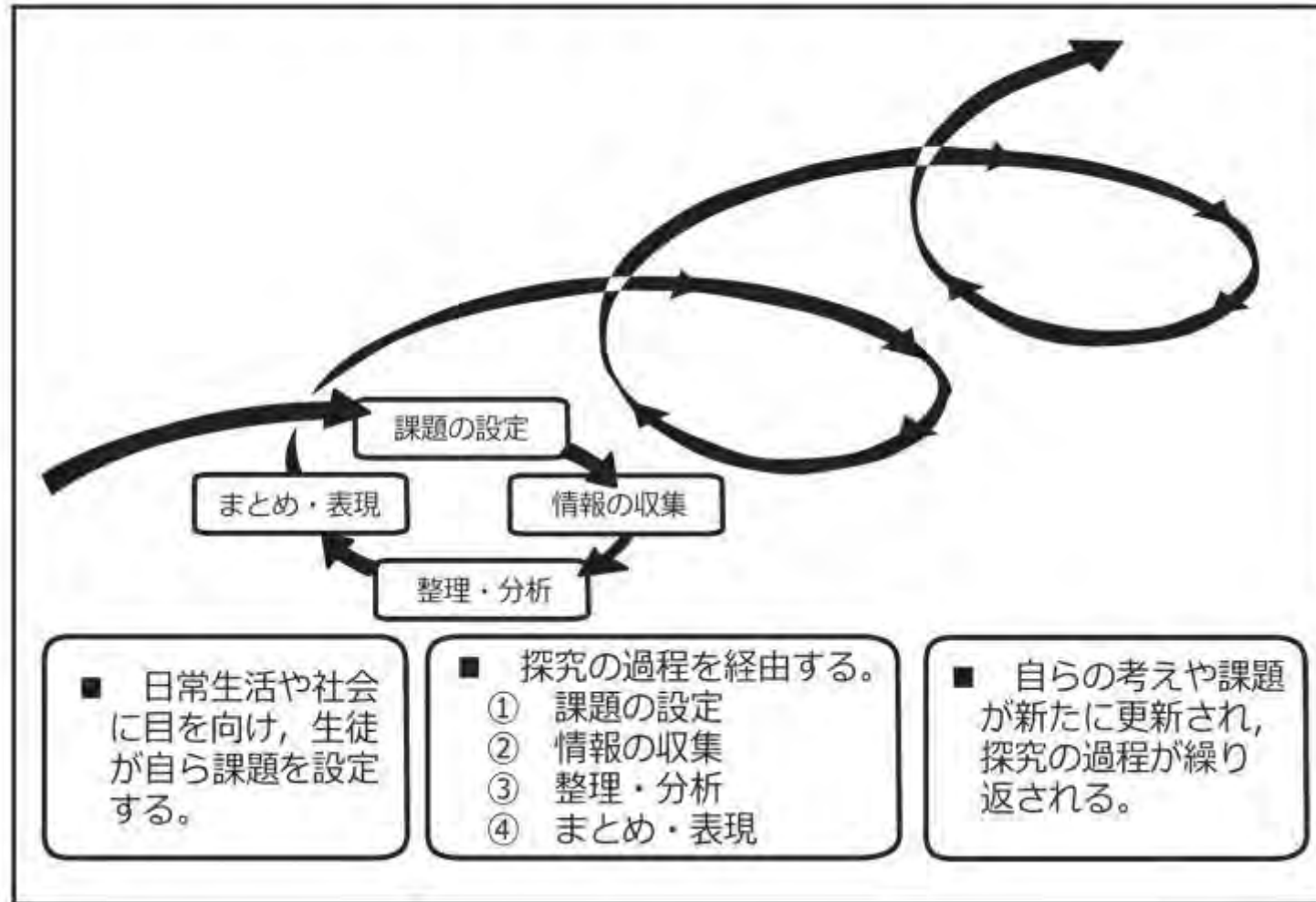
- ①自分たちが感じている課題や、展望について**主体的**に考える。
- ②自分たちの想いを実現させるための**見通し**や、必要な方法を考え、**協働**して**実行**する。
- ③自分たちの取り組みの成果と課題を**振り返り**、次年度の取り組みへつなげる。

【教師】

- ①PBLによって、生徒にどんな**資質・能力**を培いたいか明確にし、共有する。
- ②限られた時数の中で**生徒の想い**を実現させるための、手立てを考える。
- ③生徒のしたいことをフォローできる人材の、**適材適所**を考える。

3. PBLを実践する上で大切にしたいこと

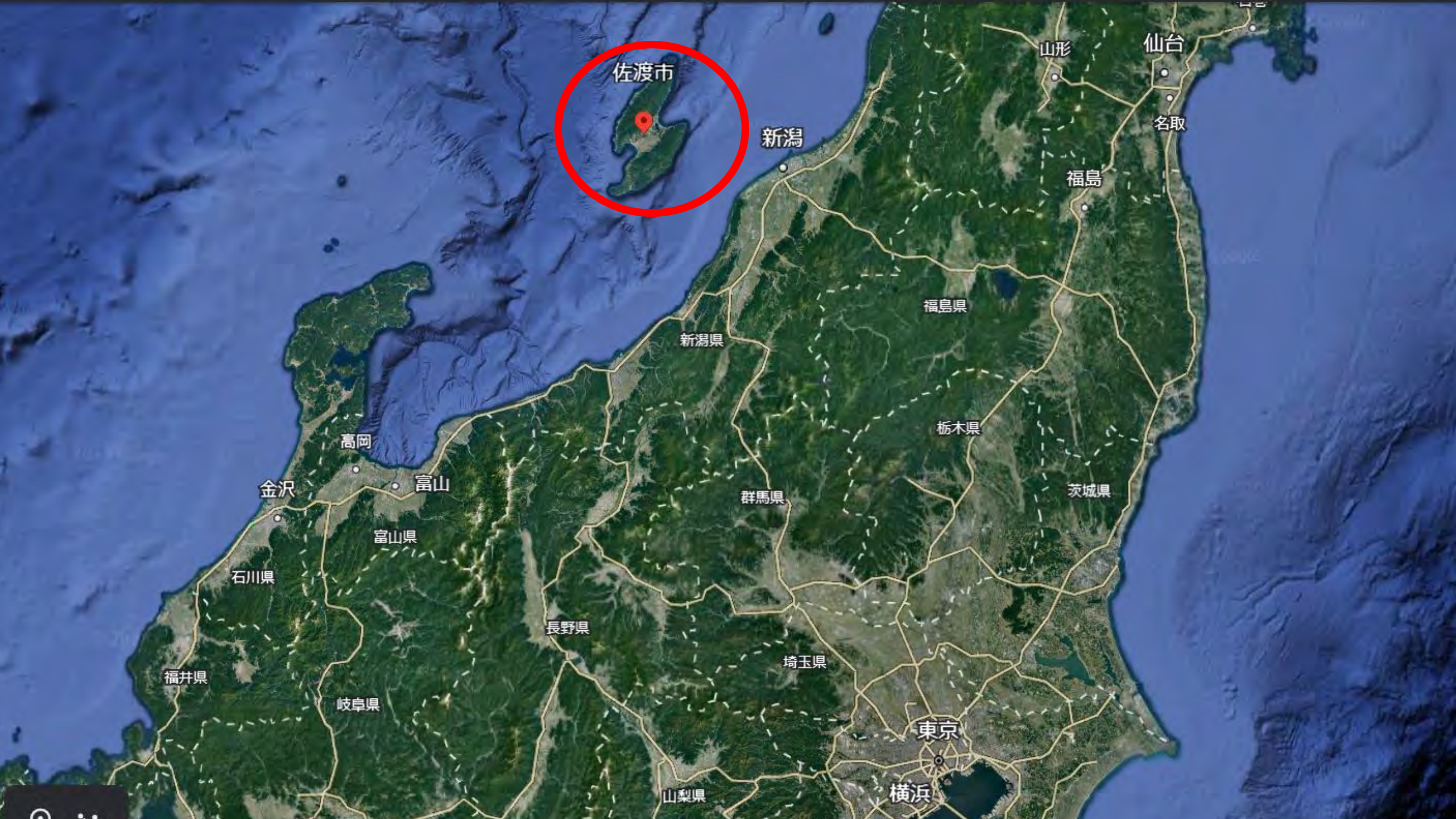
探究的な学習における生徒の学習の姿



3. PBLを実践する上で大切にしたいこと

学校（の学び）や
生徒（の学び）と
社会とをつなぎたい！

社会に出て通用する力を
生徒につけてほしい！



佐渡市

新潟

山形

仙台

名取

福島

福島県

新潟県

栃木県

高岡

金沢

富山

富山県

群馬県

茨城県

石川県

長野県

埼玉県

福井県

岐阜県

東京

山梨県

横浜



佐渡市立高千中学校

全校人数 17人 (R5年度)

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

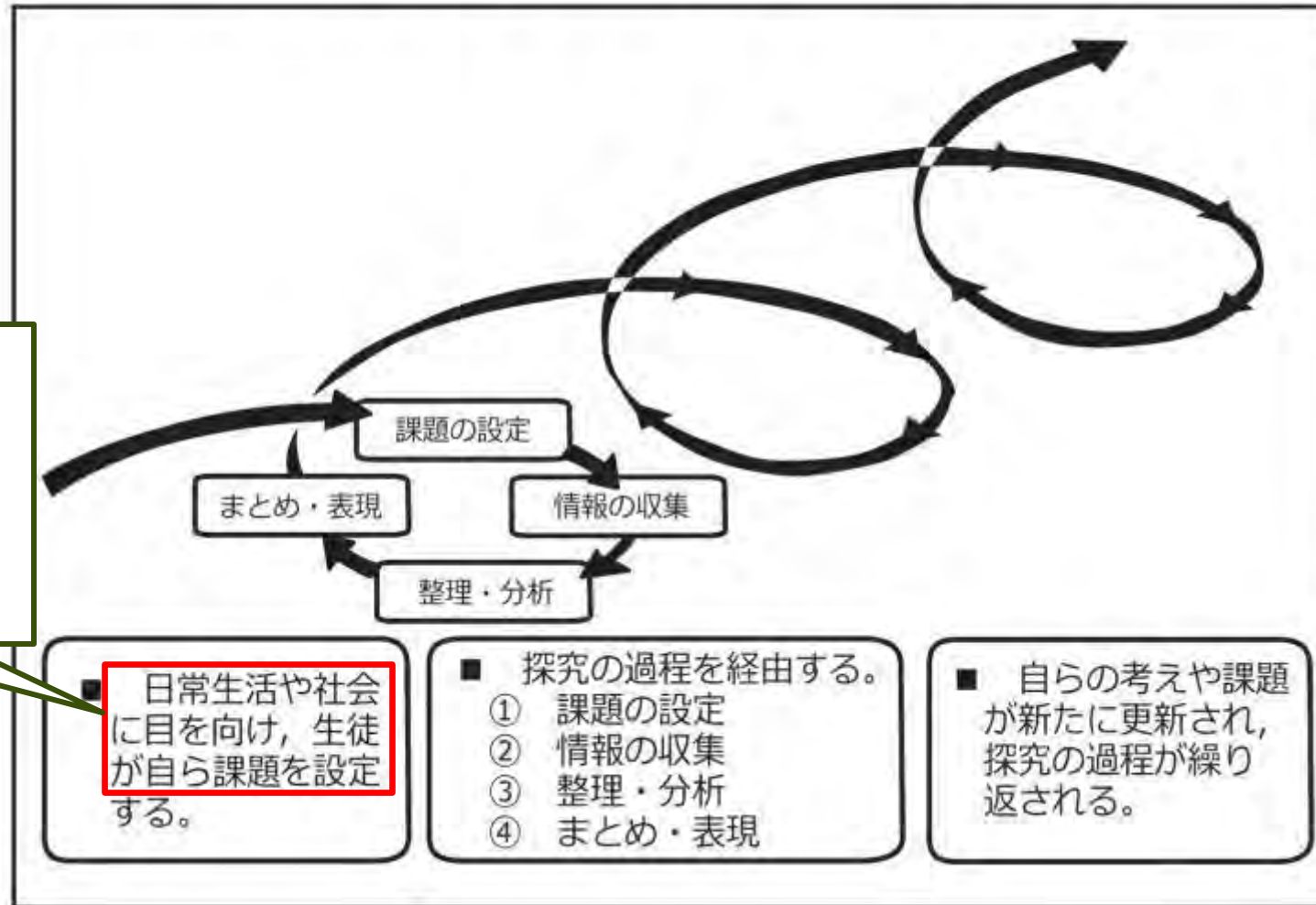
月	R 2	R 3	
4月	ガイダンス	ガイダンス	
	技能継承	技能継承	魅力発信
5月	↓	↓	
6月			
7月			↓
8月			
9月			↓
10月	文化祭	文化祭	
	演目発表	演目発表	成果発表
11月		振り返り	

【生徒の想いを表出させる】
 「文弥人形」の活動を
 どのようにしていきたいか？
 どうなってほしいか？
 そのような状態になるために、
 自分たちに何ができるか？

【問題解決的な活動の発展的反復につなげる】
 今年度の活動の
 よかった点、改善点、
 来年度への提言（提案）

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

探究的な学習における生徒の学習の姿



4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

令和3年度の実践

4月ガイダンス



T: 文弥人形の課題は何だろう？

S: 後継者不足。

S: 内容がよくわからない。

S: 現代で必要感を感じていない。

T: 文弥人形が今後どうなってほしい？

S: 伝統が続いてほしい。

S: 自分たちの活動を知ってほしい。

S: 魅力を広めたい。

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

令和3年度の実践

T: 魅力を広めたり、関心をもってもらうためには何が出来るそう？

S: インターネットで広める。
S: セリフを現代風にアレンジする。
S: いろんな場所で公演する。
S: **ポスターを作る。**
S: メディアに取材に来てもらう。
S: **パンフレットを作る。**
S: 島外で上演する。
S: レプリカを全国に展示する。
S: **スライドで紹介する。**



**ポスター、パンフレット、
スライド作成**

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

令和3年度の実践

【ガイダンス後の生徒の振り返り】

今日の授業で、自分たちができそうなことを他の人の意見を聞いて、なるほどと共感できるようなアイデアや、これを本当にやってみたいと思える意見が出てきてよかったです。インターネットに動画をあげたり、宣伝したりするのはできそうなので、すごくいいアイデアだと思います。これが実際にできたら色々な所へ広められるんじゃないかなと思いました。【3年生徒A】

・今日の授業で、自分たちができそうなことを他の人の意見を聞いて、なるほどと共感できるようなアイデアや、これを本当にやってみたいと思える意見が出てきてよかったです。インターネットに動画をあげたり、宣伝したりするのはできそうなので、すごくいいアイデアだと思います。これが実際にできたら色々な所へ広められるんじゃないかなと思いました。【3年生徒B】

・文弥人形について考えて、伝統文化でもあるし、大切な思い出の一つなのでなくならないでほしいと思いました。そのためにこれから引き継いでもらえるように、自分たちで新しいことに少しずつチャレンジしていきたいと思いました。そしてたくさんの人に知ってもらいたいです。【2年生徒C】

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

令和3年度の実践

【実社会での課題と解決方法を探究する生徒】

＜探究目的＞

文弥人形の魅力をより多くの人に伝えるにはどうしたらよいか。

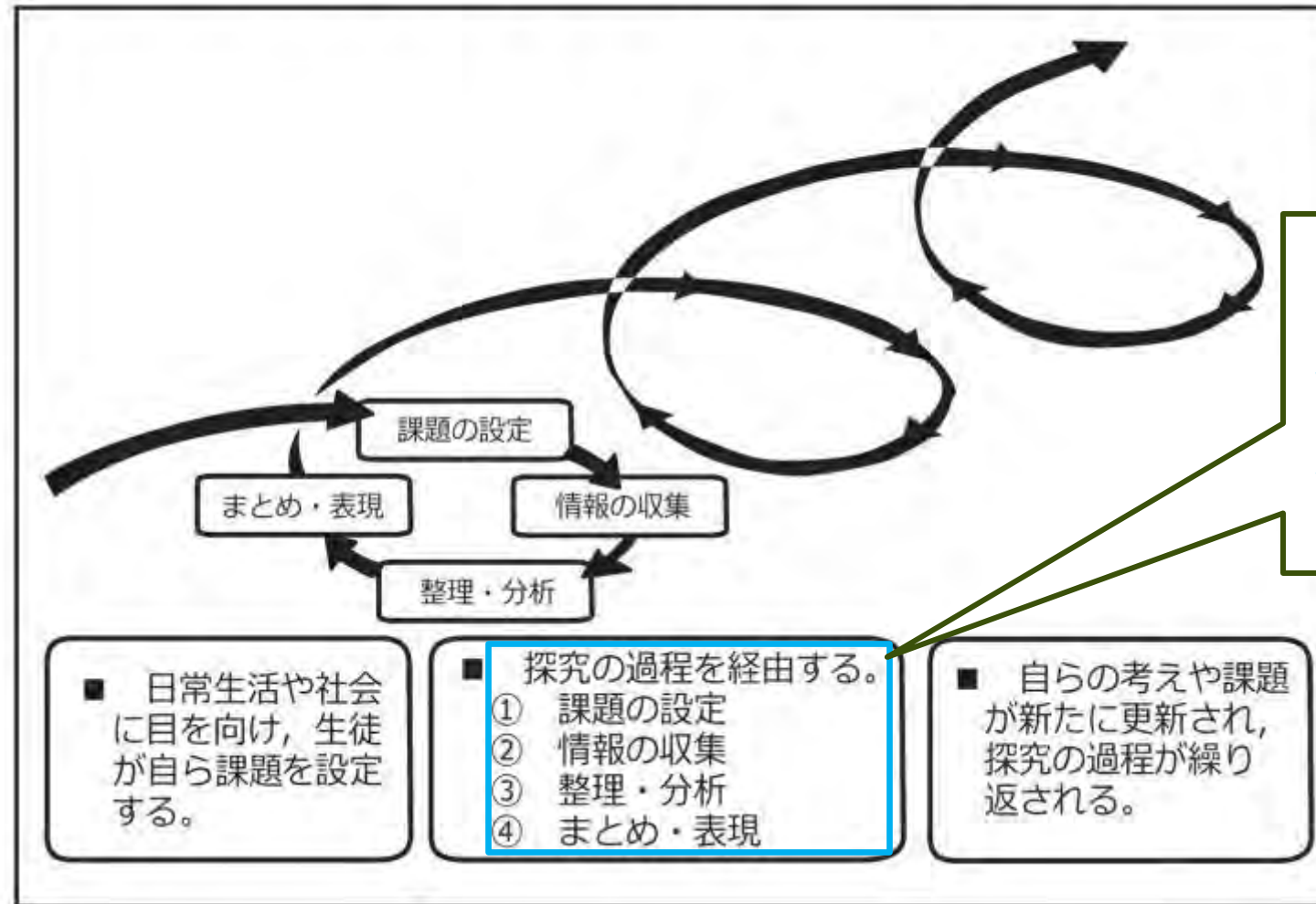
＜探求内容＞

ポスター・パンフレット・スライド

生徒の想いを
もとにした
「探究目的」、
「探究内容」

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

探究的な学習における生徒の学習の姿



4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

探究過程 (R3.7月)



パンフレット



ポスター

生徒同士のつながり

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践



文弥人形発表 高千中学校生徒
 ひらかな盛衰記
 粟津が原ともえ合戦の場

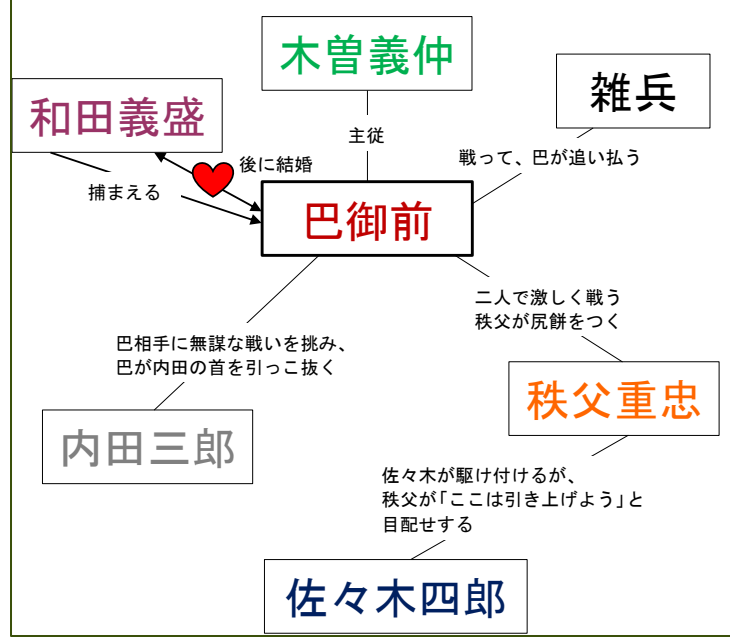
いざ勝負！強き女、ここに現る！



期日 令和3年10月16日(土)
 時間 10時30分～11時00分
 会場 佐渡市立高千中学校 体育館

練習した成果を
 精一杯発揮するので
 ぜひご覧ください。

【あらすじ】
 平安時代の末期、**巴御前**の主人である**木曾義仲(朝日将軍)**は、源頼朝から追われる身でした。頼朝の鎌倉方は、**佐々木四郎**、**秩父重忠**、**和田義盛**といった精鋭ぞろい。次第に追い詰められていった**義仲**は、**巴**を逃がそうと、自分に付き従うことを禁じます。
 しかし、**巴**は逃げる気持ちにはなれず、馬の歩みにまかせて進んでいました。すると、「落ち武者、戻ってこい！」と叫びながら、鎌倉方の**雑兵**が襲いかかります。しかし、**巴**にとっては大した敵ではなく、**雑兵**は一目散に逃げ去ります。そこへ、無類の力持ち、**秩父重忠**が登場します。**秩父**は、**巴**の鎧の草すり(腰の部分)をつかんで引き倒そうとしますが、勝負はつかず、とうとう草すりがちぎれて、**秩父**は尻餅をついてしまいます。すると、**佐々木四郎**が駆け付けます。しかし**秩父**は、**佐々木**に「ここは戦わずに引き上げたほうがよい。」と目で見せ、二人はその場を立ち去ります。次にやってくるのが**内田三郎**。怪力の**巴**相手に必死に組み付きますが、首を引き抜かれてしまいます。最後に登場する**和田義盛**は、松の木を引き抜いて、**巴**に打ちかかります。**巴**は全力で応戦しますが、しばらくして敵の中から「**朝日将軍**を討ち取った。」と叫ぶ声を聞いて主人の死を知り、全身から力が抜けてしまいます。そこへ鎌倉方の軍勢が襲いかかり、とらわれの身となります。その後、この出来事が、**巴御前**と**和田義盛**が夫婦になるきっかけであったと、語り手が述べて、幕となります。



人形遣い	
	巴が目立つように、精いっぱい頑張ります。 担当：巴御前(前半) 3年
	戦うところが多いので、迫力が出せるようになりたいです。 担当：巴御前(後半) 3年
	多くの人に興味をもってもらい、引き継いでほしいです。 担当：秩父重忠 3年
	首の動きに注意して、キレが出るように頑張りたいです。 担当：佐々木四郎 3年
	内田を精一杯演じられるように、頑張ります。 担当：内田三郎 2年

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践



紹介スライド

パンフレット
配布

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

佐渡博物館

佐渡文化財団

相模女子大学

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践



卒業後の
課題に言及

来年度の
課題に言及

1年生の頃は自信をもって発表することがうまくできず、文弥に対しての意識もあまりなかったが、3年生になってもっと多くの人に知ってもらいたい、文弥がこれからも残ってほしいと思うようになった。卒業しても、高千中生の文弥の発表は毎回見に行きたいと思う。【3年生徒E】

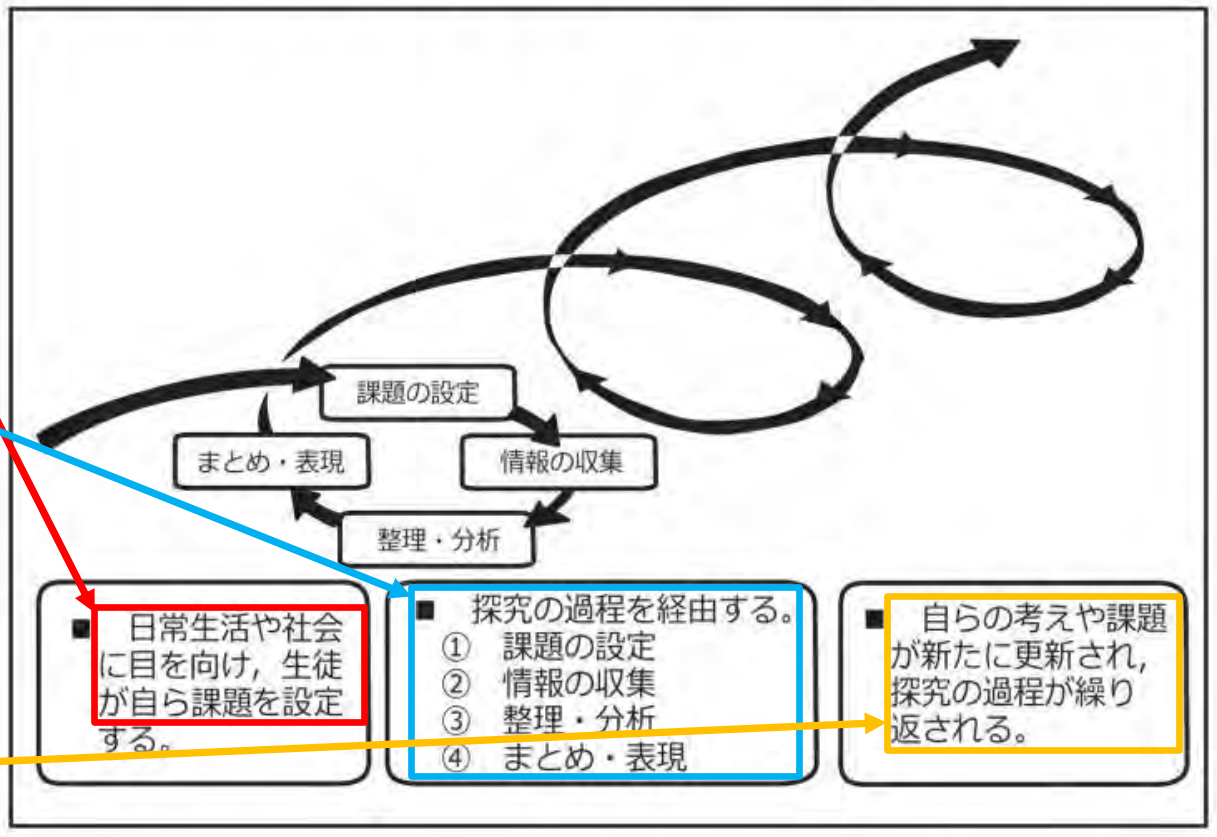
相模女子大の人だけでなく、他の人にも文弥人形を見てもらおう。(ZoomやYoutubeなど)文弥人形をもっと知ってもらうために、三味線や人形をさわったみたり、少し弾いてみたりなどの体験をできるようにする。【2年生徒F】

最初に配られた台本を小学生や保護者にも渡した方がよい。もっと人形の迫力を出せるように、首の向きや人形の高さを考えながらしたい。【1年生徒G】

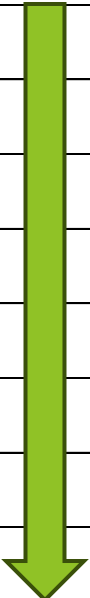


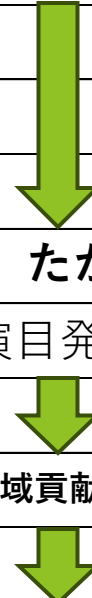



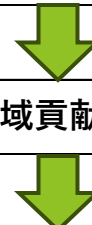
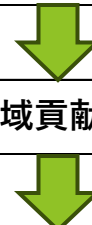




4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

月	R 2	R 3	
4月	ガイダンス	ガイダンス	
	技能継承	技能継承	魅力発信
5月	↓	↓	↓
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	文化祭	文化祭	
	演目発表	演目発表	成果発表
11月	振り返り		

探究的な学習における生徒の学習の姿



4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

	R2	R3		R4		R5				
4月	ガイダンス	ガイダンス		ガイダンス		ガイダンス				
	技能継承	技能継承	魅力発信	技能継承	魅力発信	技能継承	魅力発信			
5月										
6月										
7月										
8月			佐渡博物館		たかち芸能祭					
	演目発表	PR活動	演目発表	PR活動						
9月						地域貢献活動(3年生のみ)				
10月			文化祭			文化祭		文化祭		
			演目発表			演目発表	PR活動	演目発表	PR活動	演目発表
11月		振り返り				敬老会発表会				
				人形芝居定期公演会		人形芝居定期公演会				
		演目発表	PR活動	演目発表	PR活動					
		振り返り		振り返り						

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

ブログ作成 (R4)



しおり作成 (R4)



しおり作成 (R5)



4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

R4 高千中学校文弥人形

意気込み動画

制作・著作 高千中学校 SNS班

00:02



紹介動画作成 (R4)

紹介動画作成 (R5)



4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

	R2	R3		R4		R5				
4月	ガイダンス	ガイダンス		ガイダンス		ガイダンス				
	技能継承	技能継承	魅力発信	技能継承	魅力発信	技能継承	魅力発信			
5月	↓	↓		↓		↓				
6月										
7月					↓			↓		↓
8月								佐渡博物館		たかち芸能祭
				演目発表	PR活動	演目発表	PR活動			
9月			↓	↓	↓	地域貢献活動(3年生のみ)				
10月	文化祭	文化祭		文化祭		文化祭				
	演目発表	演目発表	PR活動	演目発表	PR活動	演目発表	PR活動			
11月		振り返り				敬老会発表会				
				人形芝居定期公演会		人形芝居定期公演会				
				演目発表	PR活動	演目発表	PR活動			
				振り返り		振り返り				

クラウドファンディング

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践



私たちは、新潟県にある佐渡市立高千中学校の生徒です。豊かな自然のもと、全校生徒17人で楽しく学校生活を送っています！私たちがお願いしたいことは、『国指定の重要無形民俗文化財である「文弥人形」を知ってもらうための私たちの活動に、資金援助をお願いしたい。』ということです。

¥ 現在の支援総額

1,025,000円

102%

目標金額は1,000,000円

支援者数

141人

募集中終了まで残り

終了

このプロジェクトは、2023-09-29に募集を開始し、141人の支援により1,025,000円の資金を集め、2023-10-20に募集を終了しました

もう一度プロジェクトをやってほしい

231210_先生

シェア

ツイート

LINEで送る

URLコピー

QRコード

埋め込み

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

応援してくれる人
とのつながり



4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

外部機関とのつながり



佐藤さん(15)は「人形や三味線がほろぼろなので、直して力いっぱい演じたい。ぜひたくさんの方に協力してほしい」と話した。

CFの目標金額は100万円。1口2千円から受け付け、パンフレットやお礼状を返礼品にする予定。20日まで募集する。同校のホームページにあるブログから、特設ページにアクセスできる。問い合わせは高千中、0259-777-2019。

写真1 文弥人形の活動を維持、普及させるためのクラウドファンディングを始めた高千中の生徒たち(2日 佐藤市川)

文弥人形 継続に力を

実演取り組む高千中が

佐藤に古くから伝わる人形芝居「生徒17人で取り組む高千中学校(佐藤)を継続、発展させるためのクラウドファンディング」を始めた。古くなった人形たり、パンフレットを作成したりするなどに充てたい考えだ。生徒は「守りていきたい」と意気込んでいる。

高千中は、旧外海府時代の1960年代から文弥人形に取り組んでいる。かつては音テープを使うこともあったが、10年ほど前から、人形遣い、語り、三味線等を生徒がこなし、文化祭や地元祭りの場で発表している。

最近力を入れているのが、パンフレットを用いた文弥人形の普及活動だ。佐藤ではおなじみの伝統芸能だが、文芸調で展開も速く、初めて見る観光客らは内容を理解しづらい。そこで2021年度から、発表する演目のあらすじや、登場人物

パンフ作成や道具修繕費

19 社会 12版 日(令和5年)10月15日(日) 毎

文弥人形の活動を維持、普及させるためのクラウドファンディングを始めた高千中の生徒たち—佐藤市川入川



タイムスクリターの志保さん(15)は「人形や三味線がほろぼろなので、直して力いっぱい演じたい。ぜひたくさんの方に協力してほしい」と話した。

CFの目標金額は100万円。1口2千円から受け付け、パンフレットやお礼状を返礼品にする予定。20日まで募集する。同校のホームページにあるブログから、特設ページにアクセスできる。問い合わせは高千中、0259-777-2019。

写真1 文弥人形の活動を維持、普及させるためのクラウドファンディングを始めた高千中の生徒たち(2日 佐藤市川)

「文弥人形」続けたい

佐藤の中学 全校生17人がCF

佐藤に古くから伝わる人形芝居「生徒17人で取り組む高千中学校(佐藤)を継続、発展させるためのクラウドファンディング」を始めた。古くなった人形たり、パンフレットを作成したりするなどに充てたい考えだ。生徒は「守りていきたい」と意気込んでいる。

高千中は、旧外海府時代の1960年代から文弥人形に取り組んでいる。かつては音テープを使うこともあったが、10年ほど前から、人形遣い、語り、三味線等を生徒がこなし、文化祭や地元祭りの場で発表している。

最近力を入れているのが、パンフレットを用いた文弥人形の普及活動だ。佐藤ではおなじみの伝統芸能だが、文芸調で展開も速く、初めて見る観光客らは内容を理解しづらい。そこで2021年度から、発表する演目のあらすじや、登場人物

人形ぼろぼろ、パンフのインク代がない!

佐藤に古くから伝わる人形芝居「生徒17人で取り組む高千中学校(佐藤)を継続、発展させるためのクラウドファンディング」を始めた。古くなった人形たり、パンフレットを作成したりするなどに充てたい考えだ。生徒は「守りていきたい」と意気込んでいる。

高千中は、旧外海府時代の1960年代から文弥人形に取り組んでいる。かつては音テープを使うこともあったが、10年ほど前から、人形遣い、語り、三味線等を生徒がこなし、文化祭や地元祭りの場で発表している。

最近力を入れているのが、パンフレットを用いた文弥人形の普及活動だ。佐藤ではおなじみの伝統芸能だが、文芸調で展開も速く、初めて見る観光客らは内容を理解しづらい。そこで2021年度から、発表する演目のあらすじや、登場人物

4. 地域の伝統芸能を活かしたPBLの実践

教師とのつながり



5. 成果と課題

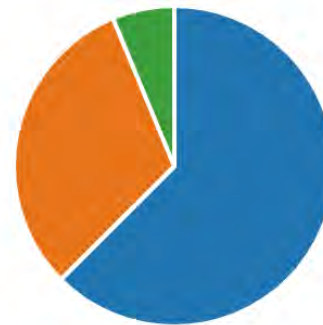
(1) 成果

- 生徒の想いを表出させ、具体的な計画の元、協働して実行させることを通して、生徒の**主体性**や**関わる力**、**思考力**、**達成感**、**郷土への誇り**や**愛着**を醸成できた。
- AARサイクル**をまわすことで、**生徒の見通す力**、**実行する力**、**振り返る力**を育めた。

10. 文弥人形の発信活動を通して、自分たちが行動すれば、社会に対して影響力を与えることができると感じましたか。

詳細

● 感じた	10
● どちらかといえば感じた	5
● どちらかといえば感じなかった	1
● 感じなかった	0



5. 成果と課題

(2) 課題

▲活動時間の確保。

▲培った資質・能力を生徒に自覚させるための手立て。

▲非認知能力をどう評価するか。

▲生徒のやりたいを実現させるための教師の「覚悟」。

ご清聴、ありがとうございました。

忌憚なきご意見、ご感想をよろしくお願いします。

